

経済活性化を考える

－第 4 回栃木県経済活性化会議での発言内容－

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。

開倫塾塾長の林明夫です。

2. 10 月 16 日、先週水曜に福田昭夫知事の諮問委員会、栃木県経済活性化会議が開かれまして、私も委員に参加させていただきましてので、栃木県の経済の活性化をどのように促進したらよいかについて、議論がありました。私がお話したのは用途地域の変更です。これから先、工業地帯であるとか、準工業地帯であるとか、農業地帯であるとか、いろいろな規制があるわけです。それを時代に合わせて見直していただきたい。用途地域を見直すだけでしたら、お金は一銭もかかりませんので、見直すだけです。そうしますと、今公共事業が少なくなって、大変売上が減ってしまった建設業の方々が、もう一度、いろいろな建築を請け負ったり、いろいろなビジネスがそこにまた生じますので税金を一銭も使わないで栃木県の経済を活性化させるひとつのやり方は規制をとる。用途地域の見直しを全県をあげてやっていただきたい。それを提言書の中に書いて頂きたいということを御願いました。

3. それから 2 番目は「ビジネス支援図書館」を中心市街の開いている施設を使い 49 市町村すべてに作って頂きたいとの提言をいたしました。通商産業研究所で、何週間か前に「ビジネス支援図書館」についての勉強会にでました。これから仕事を創業する、または今までの仕事を見直すこと等、ビジネスについて、仕事について勉強したい人、手続き的なことを知りたい人のために、ビジネス支援の働きを持つ図書館を作ってもらいたい。又、今までにある県立図書館、私立図書館、大学、実業高校など、図書館にビジネス支援図書館の機能をもたせることを、県として奨励して頂きたい。ビジネス支援図書館の連絡協議会もつくって頂きたい。もし、できればその図書館は一年 365 日、一日も休み無く朝の 6 時から、夜の 12 時まで稼働させて頂きたい。このようなことを提言しました。

4. 二次産業が栃木県は非常に盛んですが、放っておきますと、どんどん中国からものが入ってくると、どんどん工場が栃木県から撤退してしまう傾向がみえます。できれば栃木県はものづくりの中心地、今までどおりのものづくりをやれる範囲でやって頂くということで、これから先、二次産業の未来、どんなものづくりをしたらいいのかという研究を県をあげて深めて頂きたい。私の意見は「宇宙航空機産業」のメッカとして、栃木県をとらえ直して頂きたい。今から 20 年位一所懸命こつこつ研究すれば、「宇宙航空機産業」も夢ではありません。是非やって頂きたい。それから、二

時産業の生産性を上げるために、「一個流し」とか、「屋台方式」があります。一人がいろいろな行程を担当することによって、生産性を上げる、付加価値の高いものを作る方法があります。これを栃木県にもっと普及させる。また、R&Bといいまして、研究と開発の施設をもっていれば、工場のラインは止まらない。栃木県の工場についてはR&B、研究開発促進の激しい動きをつくってもらいたい。これから、清原工業団地の近くにできる栃木県の新しい工業試験場などはそのためのメッカにしてもらいたい、そのような提言をさせて頂きました。二次産業に限らず、一次産業でも、サービス業でも、研究開発無くしていいものはできない、よいサービスは提供できないと思います。デフレを乗り切るには、とにかく働いている一人ひとりの生産性を上げる。又、研究開発をして他にまねのできないサービス、製品を作り上げる以外はないと思いますので、大いにそれを促進していただきたい。

5. 栃木県には農業関係の大きな部はあるのですが、商工労働観光部、商業と工業と労働がいっしょとなった部になっている。商工労働観光部は非常に一所懸命やって下さっているのですが、全部いっしょではないほうがいい。商業は商業、工業は工業、労働は失業対策とか、観光は観光で非常に大きな経済的な働きをします。できれば今の課を各々「部」に昇格していただいて一つひとつの業務を強烈にやっていただきたい。特に観光は命がけで観光立県にさせていただければ、今だいたい6000万人以上の方が栃木県を訪れてるのに（入込み客数）泊まる方と1000万人弱からがだんだん減ってきて、900万人を割ってしまいました。できれば栃木県は日光、那須その他、素晴らしい所が沢山ありますので、観光客の方にきていただいて、それプラスどうしたら宿泊していただけるか、栃木県をたのしんで頂いて、リフレッシュしたり、いろいろなことをしていただけるようにするための栃木県の観光政策を作り上げる必要があります。そのためには、英語を観光の担い手のタクシードライバーさんとか、ホテルの方に一所懸命勉強して頂く等、環境を整えて下さいと御願いました。いろいろな掲示もローマ字表記をメインにして、漢字はその下でいいのではないかと思います。外国の個人観光客に方はレンタカーでドライブしますから、外国人のかたが日本語がわからなくてもローマ字表記だけをみて栃木県をドライブできるような環境を整えて頂きたい。その手前で、日本一の観光のためのホームページを栃木県として作り上げる。これはお金がかかりますので、県で作っていただきたい。そして日本人を含めて、外国人の観光客がホームページをみれば栃木県中を歩ける、車でドライブできるまでにしていただければという提言をしました。

6. 今日は10月16日にあった、栃木県経済活性化会議で私が話した中身を少し御紹介させて頂きました。ぜひ皆さんもどうしたら、栃木県の経済が活性化できるかについてお考え頂いて、知事さんの所にどんどんお手紙を差し上げていただけるように御願います。

7. どうか車を運転している方は、くれぐれも前の車に追突しないように、車間距離を十分離して運転して下さい。